

名詞の取り扱い

テクニカルドキュメンテーションII

2025.05.23 Kenichi Wakabayashi

名詞の取り扱い：数と冠詞

英語では名詞の「数」や「冠詞」の扱いが日本語と大きく異なる。

1. 英語の名詞は「数」を明確に表す

- 日本語では単に「ノートパソコン」で済むが
- 英語では `a laptop computer` や `laptop computers` のように数の明示が必要

2. 名詞を数えるには？

- 名詞を「個体として」扱うか
- 「形あるもの」として扱うか
- 可算か不可算かを判断する必要あり

3. 数に関する判断①

- (a) 形あるものとして表すべきか
- (b) どのような用法があるか

4. (a) 形あるものとは？

- 例：
 - 1本の鉛筆
 - まとまりの情報
 - 温度条件（100°Cなど）
 - 金属の塊

5. (b) 名詞の用法のタイプ

1. 可算のみ（例: pencil）
2. 不可算のみ（例: information）
3. 両方の用法あり（例: metal）

6. 不可算名詞を数えるには？

- piece, item などの「単位語」を使う
 - a piece of information
 - an item of information

7. 両方の用法をもつ名詞の例

- temperature (温度)
- improvement (改善)
- metal (金属)

用途・文脈に応じて使い分ける必要あり

8. 単数／複数の選択

- 名詞が「数えられる」場合、単数か複数かを文脈で判断
- 一般的なものか、個別のものかで数が変わる

9. 英語は「冠詞」を決定して書く

- 英語では名詞の前に必ず冠詞（a/an, the）を置く必要あり
- 例：I bought a laptop.

10. 冠詞の使い方

- the = 特定できるもの
- a/an = 特定できないもの（1つ）

11. 冠詞の判断：既出・唯一性

- 2度目の登場 → the
- 唯一の存在 → the

12. 冠詞の判断：属性・種類

- 名詞の属性を示す場合（例: 電子レンジの構造） → the
- 種類を表す場合（例: a transistor） → a/an

13. the の使用例

- the power switch (電源スイッチ)
- the finite element method (有限要素法)

14. the を使わない場合

- 不可算名詞を種類として扱うことはできない
- × the water is drinkable → the は使えない

15. 冠詞の判断フロー

- 特定できる？ → the
- 特定できない → a/an or 無冠詞

16. a/an の選択基準

- 母音で始まる → an
- 子音で始まる → a
- 見た目ではなく発音に注意！

17. 参照符号付き名詞と冠詞

- Chapter 1, Fig. 1, user A など通常冠詞不要
- ただし a user A のように不特定を表す時は冠詞が必要

